



TITLE:

編集後記 (泌尿器科紀要 第46巻第  
6号)

AUTHOR(S):

---

CITATION:

編集後記 (泌尿器科紀要 第46巻第6号). 泌尿器科紀要 2000, 46(6): 448-448

ISSUE DATE:

2000-06

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/114287>

RIGHT:

4. 論文の訂正：査読審査の結果、原稿の訂正を求められた場合は、40日以内に、訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて、前記泌尿器科紀要刊行会宛て送付すること、なお、Editor の責任において一部字句の訂正をすることがある。
5. 校正：校正は著者による責任校正とする。著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する。
6. 掲載：論文の掲載は採用順を原則とする。迅速掲載を希望するときは投稿時にその旨申し出ること。
  - (1) 掲載料は1頁につき和文は5,500円、英文は6,500円、超過頁は1頁につき7,000円、写真の製版代、凸版、トレース代、別冊、送料などは別に実費を申し受ける。
  - (2) 迅速掲載には迅速掲載料を要する。5頁以内は30,000円、6頁以上は1頁毎に10,000円を加算した額を申し受ける。
  - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機器の使用などに関する治験論文および学会抄録については、掲載料を別途に申し受ける。
7. 別冊：実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

#### Information for Authors Submitting Papers in English

1. Manuscripts, tables and figures must be submitted in three copies. Manuscripts should be typed double-spaced with wide margins on 8.5 by 11 inch paper. The text of all regular manuscripts should not exceed 12 typewritten pages, and that of a case report 6 pages. The abstract should not exceed 250 words and should contain no abbreviations.
2. The first page should contain the title, full names and affiliations of the authors, key words (no more than 5 words), and a running title consisting of the first author and two words.  
e.g.: Yamada, et al.: Prostatic cancer · PSAP
3. The list of references should include only those publications which are cited in the text. References should not exceed 30 readily available citations. Reference should be in the form of superscript numerals and should not be arranged alphabetically.
4. The title, the names and affiliations of the authors, the director's name, and an abstract should be provided in Japanese.
5. For further details, refer to a recent journal.

#### 編 集 後 記

今回から名誉編集委員長と交代で編集後記を書かせて頂くことになった。今までの名文と比較されると、お粗末な編集後記と感じられるかたも多いと思う。それは人生経験の差によるものとご容赦いただき、さらに若手泌尿器科医を代表するつもりで、お叱りは覚悟であえて独断的な編集後記を書かせて頂こうと考えている。

さて、先日、北海道で第88回泌尿器科学会総会が行われた。無駄を省き目的意識のしっかりした総会であったように感じられたかたも多いと思う。「泌尿器科学の新しい展開：夢・挑戦・独創性」というテーマでの大会は、まさに北海道大学の先生方の挑戦が実った総会になったと思う。昨年の AUA で、William Turner (AUA President) が、AUA の存在意義を“Science, Education, Practice”という言葉で紹介した事が思い出される。第1会場では Education、第2会場ではビデオによる Practice が意識されており、現在の会員の要望をしっかりとりえたプログラムであったと思う。

しかし、いくら無駄を省いたとしても、大会開催には多額の資金調達が必要であったと思う。本年度より公務員倫理法が施行され、時代の流れとともに今後の学会開催には細心の配慮が必要となると考えられる。少なくとも会長自身が資金と倫理法違反の心配をしないですむような総会の開催・運営が出来ないものかと愚考しながら帰京の途についた。

いつ行っても札幌は感じのいい町である。北海道のような雄大な土地で育ち、豊かな教育を受ければ、世界を視野に入れた医学を目指すことが出来るような気がする。食べ物もおいしい。「旨きもの、旨き地にあり。」という感である。

(小川 修)

---

泌尿器科紀要 第46巻 第6号 2000年6月25日 印刷 2000年6月30日 発行  
 発行 小川 修 顧問 吉田 修 発行所 泌尿器科紀要刊行会  
 〒606-8392 京都市左京区聖護院山王町18 メタボ岡崎301号 電話 (075) 752-0100  
 FAX (075) 752-0190

---

印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入

---